

薬学部 矢部真以

水田三喜男記念奨学生としてハンガリーでの国際グローバル研修に参加しました。まず、この研修を通して環境について学びました。水資源の活用について調べていく中で、日本の川とハンガリーの川の違いについて知りました。日本では長さが短い川しか見ることはありませんが、ハンガリーのドナウ川を実際に見て、日本の川とは比べ物にならないほど大きく、夜景もきれいで驚きました。しかし、インタビューを通して、ドナウ川は昔と比較して綺麗になってきてはいますが、綺麗とは言えないということを知りました。また、日本の川は、現在は運搬に利用されることはほとんどありませんが、国をまたがるドナウ川は今でも産業地域からの運搬などに利用されており、内陸国であるハンガリーと島国である日本の川の利用方法の違いを知りました。さらに、バラトン湖の水が枯渇しないようドナウ川の水を流し入れることとしており、ハンガリーにおけるドナウ川の重要性を知りました。また、ゴミの分別においては、実際に小学校や幼稚園を訪問し、ゴミの分別に関する教育を見学させていただきました。ハンガリーでは、小さい頃からゴミの分別の教育をしており、さらに、さまざまな動物、野菜、果物を責任をもって育てたり、幼稚園の遊び道具は卵パックなどを再使用して作られていたり、環境に対する意識の高さを感じ、このような環境への意識を世界中に広めていくべきだと思いました。ごみの分別について、ハンガリーは日本に比べてゴミ箱の種類が細かく分かれていて、想像以上にピクトグラムが使われていたりゴミ箱が色分けされていたりし、さまざまな人が分別しやすいよう工夫されていることが分かりました。



次に、ハンガリーで生活していく中で感じたことの、一つ目は、日本とハンガリーの食文化の違いです。日本では当たり前のように食べている米はほとんど食べず、パンやパスタ、芋が主食でした。肉料理が多く美味しかったです。ハンガリーで有名なパプリカ粉を使ったグヤーシュと呼ばれるスープが一番美味しかったです。二つ目に、ハンガリー人の学習意欲や積極性の高さを感じました。ブダペスト商科大学(BBS)の学生と一緒に講義をしていく中で、BBSの学生は日本人とは違い積極的に授業に参加し自分の意見を話しており、日本の講義との違いを感じました。日本語

の授業に参加させていただいた時も積極的に発言しており、これがBBSの学生が日本語がよく話せる理由だと感じました。三つ目に、観光をしていく中で、ハンガリーの街並みの日本との違いに驚きました。この研修で初めてヨーロッパに訪れ、ヨーロッパの街並みの美しさを直接見て、毎日どこを訪れても感動しました。



この研修を通して、BBSの先生方や学生のご支援のもと、ハンガリーについて様々なことを知ることができただけでなく、普段関わることのできないハンガリー、アメリカ、中国などのさまざまな国の方々と仲良くなり、たくさん話すことができ、とても貴重な経験となりました。日本の文化紹介で日本のアニメを紹介しましたが、日本のアニメが思っている以上にたくさん知られており、日本の文化で繋がりが持てたことを嬉しく思います。このように世界で繋がりをもてる日本の文化をこれからも大切にしていきたいと思います。また、BBSの学生と英語で話した際に、自分の英語力の無さを実感しました。英語を聞き取る力だけでなく自分が言いたいことを英語で話せるよう、これからもっと英語を学んでいかなければいけないと思いました。しかし、ハンガリーを訪れ、今まで何も知らなかったハンガリー語を少し教えてもらい、初めてハンガリー語に触れることができよかったです。最後に、水田三喜男記念奨学生として本研修に参加し、短い期間で多くの学びを得られたことを光栄に思います。この経験をこれからは生かしていきたいです。本研修に携わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。